

~第2章~ 愛-Love☆日高!



残登校日

5!!

2021年2月19日
No.37

「卒業考査」&「新年第1週」も本日終了!! さて、10名揃って卒業式を迎えられるか!?

今週頭に「おかえり!」と言ってから、僅か5日間。そしてあっという間に「卒業考査」を本日終えました。「最後の1勝負」と伝えてきましたが、手応えの程はいかがでしたか!? この通信が皆さんの手元に渡される頃、担任は二セコでの管内体育科教諭スキー研修講師業のラスト1本を滑っている時間帯かと思えます。今週末の土日には「級別テスト」に挑む人もいますね~! 1人でも多くの「合格者」が生まれることを祈っています。各自、ベストな滑りを!!

さて、通信の残り号数もこの通信を除き、あと「2」となりました.. (最終号は前回の卒業担任時と同じく「39(サツキ-)号」となります(^_^)v)。本校赴任後、己に課してきた「業」が間もなく終わりを迎えるかと思うと、嬉しいやら寂しいやらという感想を抱かずにはられません。ただ、次年度になればなっただ、私にとっての新たな「業」は間違いなく訪れます。不肖・高橋健一も、高校卒業後はや34年(あれ? 担任の年齢は28歳だったけど何故..!?)。振り返れば、毎年毎年数多の「業(修行)」が存在しました。皆さんにとっての「人生の旅」は、まだ始まったばかりといっても過言ではありません。「一生修行」の精神で、今後の社会の荒波に立ち向かって欲しいと思います。最近過酷な「世界一周単独ヨットレース」に挑み見事完走を果たした、白石康次郎さんの如く!!

今週の「愛」の格言

『地上の地獄とは、愛のない生だ。』

by フョードル・ドストエフスキー (1821-1881)について

ロシアの作家。16歳でペテルブルグの工兵学校に入り、卒業後陸軍中尉として工兵局に勤務したが1年足らずで退職。1845年処女作『貧しき人々』を完成、作家的地位を確立した。49年、空想的社会主義者のサークル、ペトラシェフスキーグループに参加したかどで死刑の宣告を受け、処刑直前に減刑されてシベリアに流刑。59年ペテルブルグに帰還。61年、兄ミハイルとともに『時代』誌を創刊。長編『虐げられし人々』Unizhennye i oskorblennye (1861)と『死の家の記録』Zapiski iz mērtvogo doma (61~62)を連載し、文壇に復帰。その後『時代』誌の発禁後に刊行された『世紀』誌に『地下室の手記』Zapiski iz podpol'ya (64)を発表、以後の作品の方向を決定した。代表作『罪と罰』『悪霊(あくりょう)』『未成年』『カラマゾフの兄弟』など。ほかに文集『作家の日記』がある。(ブリタニカ国際大百科事典より)

あと名著「罪と罰」の著者として有名な(一二度読もうとするも、そのボリュームと難解さにあえなく挫折..そのうち再チャレンジしたいと思っはいますが..(;))ロシアの文豪・ドストエフスキーさんの格言を紹介します!ドストエフスキーさんは生前多くの女性と恋愛関係を持った方としても有名だそうです。卒業後、皆さんに多くの「恋」が芽生えることを期待しながら、この格言を採用しました。「愛のある生」をそれぞれ追い求めていきましょう!!

☆元志の志☆

◇常日頃とても強く思っていることを書きたい。◆人は生きていてその価値がある。なので、命を大切にしてほしい。人間に限らず、命あるものすべてにその意

味がある。なぜか。それは、何かに誰かに会うために、その生きる意味があるからだ。例えば、人は誰かを意図的に変えることはできないし、自分の意志でしか変わらないのだが、その変わるきっかけを与えてくれるのは他者であり、出会いだ。有名なアイドルの中には、親族がオーディションの書類を送ったとか、友だちについていったらスカウトされてスターになったとか、よく聞く話である。人は誰でもそんな他者に会えるし、皆さんも知らないうちに誰かの運命を変える存在にもなりえるのだ。◇だから、生きてほしい。どんなことがあっても、希望を持って、つらいときは逃げていいから、人となるべく関わって、助け合って生きてほしい。と、願う。

保護者の皆様へ

今週もお疲れさまです！ 3年生不在の3学期の校内はとっても静かだったのですが(笑)、10名全員無事帰還し、今週は久々に明るく元気な校内に戻りました(マスクやフェイスシールドがなければもっともっと元気だったはず…笑)！今週の月～水は、不足分の時数補填と産学の負担軽減のため、産学スキーレッスンはAMのみとなり、PMには登校させ卒業考査へ向けた勉強に充てさせました。『「立つ鳥あとを濁さず」で行こう』と念押しし続けてきましたので、卒業考査は全員及第点を収めてくれているものと信じております(多分…)。さて、卒業式までのカウントダウンが進む中、今週末にはクラスの5～6名が「ホームゲレンデ」における最後の「級別テスト」に挑む予定です。エース・SHUNGOくんは、23日(火)にSAJ最高峰:「クラウンプライズテスト」に挑戦予定(今週腰を痛め一瞬ヒヤッとしましたが、何とかかなりそうで一安心…)。3年間の努力の成果を発揮し、1人でも多くの合格者(白バッジ)が誕生することを願うのみです。私自身1級を取得し、はや40年、、、スキーの「神髓」はまだまだ先にあるので、卒業後も一生滑り続けて欲しいと切望しています!!!

<残りの予定> ※来週は、「スキー大会」・「予餞会」だあ～！！

☆ 2/25 木 予餞会、☆ 2/26 金 卒業式予行・同窓会入会式

☆ 3/1 卒業式(T T) 涙? 感動?? どちらも??? はてさて…

※卒業式までの登校日数は、残り「5日」。

それにしても、今週の「雨のち吹雪」は酷かったね!!

最後の最後に「北国の底力」、味わえましたね(^_^)v

<1年生:春>



SHUNGOくんがいないけど、、ゴメン…

<3年生:夏>

